



－APCC オンライン交流－

「動物ジェスチャーゲーム + 言語交換」

対象学年：中・高学年向け

交流先：APCC と関係のある国・地域の中からご紹介します。

実施時間：45分授業〔導入5分 → 交流30分 → まとめ10分〕

※実施日時は交流先と調整し決定します。

交流内容：代表挨拶 / 動物ジェスチャーゲーム + 言語交換 / 終わりの言葉

打ち合わせ：交流先とのオンライン会議1回 / APCC との打ち合わせは電話・メールで適宜

準備物：PC2台、スクリーン2台、プロジェクター2台、カメラ(PC1台に接続)、スピーカー、動物絵カード (APCC からデータ提供)

事前にクラスで学習すること：

- ①ジェスチャーゲームで使用する動物の英単語確認
- ②交流の流れの確認
- ③代表挨拶をする人決め。代表挨拶の練習。

オンライン交流のアドバイス：

- ・当日の回線状況によっては、やり取りにタイムラグがあるかもしれません。焦らずに、相手の反応をゆっくり待って次の発言や反応をするようにしましょう。
- ・当日の通信状況がとても重要です。万が一つながらなかった場合の、別の接続方法も検討しておくと安心です。

※学習内容や児童のレベルに合わせて、内容はアレンジ可能です。
まずは、ご相談ください。

学習活動の流れ

T：教師　S：APCC スタッフ　C：日本の子ども　A：交流先の子ども

学習活動	教師の働きかけと予想される子どもの反応
〔事前準備〕 (授業開始 10 分前)	<ul style="list-style-type: none"> ・スクリーンを 2 つ置き、一つには交流先を、もう一つには自分達の画像が映るようにする。 ・授業の前に海外とオンラインでつなぎ、映像と音声に問題ないか確認をする。繋がってるのを確認したら、画面と音声をオフの状態にしておく。 ・開始時間まで待機してもらうよう伝える。 ・文字が反転していないかも確認しておく
〔導入〕(5分) 1. APCC 紹介 交流時の注意事項	<p>T「今日は〇〇のお友達と英語を使って挨拶したり、ジェスチャーゲームをしたりして、交流を楽しみましょう！今日の交流をサポートしてくれるのは、アジア太平洋子ども会議・イン福岡、APCC のスタッフの皆さんです。では、APCC の〇〇さん、よろしくお願いします。」</p> <p>S「みなさん、こんにちは。APCC の〇〇です。 ……APCC の紹介 及び 交流時の注意事項」</p> <p>※ここからは APCC スタッフが進行。先生は全体サポートをお願いします</p>
〔交流〕(30分) 2. 交流先の学校とオンラインで交流する。 (1) 【日本】生徒代表挨拶 (2) 【交流先】挨拶、クラス紹介 (3) ジェスチャーゲーム 【日本が出題】 ①日本がジェスチャー ②交流先が英語で答える	<p>S「では、海外とつなぎますよ！準備は良いですか？」 ※海外の画像をスクリーンに映し出す</p> <p>S「Hello ! Can you hear me? Can you see clearly? OK! Let's start the exchange! では、日本から挨拶をしましょう」</p> <p>C「(英語で挨拶)」 ※大きな声ではっきりと、ゆっくりと話しましょう</p> <p>S「OK, next! it's your turn.」</p> <p>A「(カメラの前で英語で挨拶)」 ※S は交流先の英語の内容を子どもたちが理解できるようにフォローする。人数が少なければ、現地の子は一人ずつ名前を言ってもらおう。</p> <p>S「Let's start the gesture game! First, Japanese student will give a gesture quiz. では、まずは日本のみんなからジェスチャーしてみましょう！」</p> <p>【日本が出題】 C「(犬のジェスチャーをする)」 ※鳴き声も入れる S「What's this??」 A 全「(英語で答える)」 C 全「YES or NO」→YES の場合、全員で拍手する。</p>

<p>③言語交換 (日本語→交流先の母国語)</p> <p>(交流先の母国語→日本語)</p> <p>【交流先が出題】</p> <p>④交流先がジェスチャー</p> <p>⑤日本が英語で答える</p> <p>⑥言語交換 (交流先の母国語→日本語)</p> <p>(日本語→交流先の母国語) ※①～⑥を3回繰り返す</p> <p>(4)終わりの言葉【日本】</p>	<p>C4「in Japanese いぬ」 A全「(1,2) いぬ」 C全「(1,2) いぬ」 A全「(1,2) いぬ」 ※「いぬ」の文字カードを提示し、交流先に見せる。</p> <p>A全「in △△ ○○」 C全「(1,2) ○○」 A全「(1,2) ○○」 C全「(1,2) ○○」 ※相手言語の文字カードを提示。視覚的にも理解できるようにするとともに、日本語との共通点や相違点に気付かせる。</p> <p>S「OK,next!! It's your turn! Please show us your gesture」</p> <p>【交流先が出題】</p> <p>A「(猫のジェスチャーをする)」 C全「(英語で答える)」 A全「YES or NO」→YESの場合、全員で拍手する。</p> <p>A「in △△ ○○」 C全「(1,2) ○○」 A「(1,2) ○○」 C全「(1,2) ○○」</p> <p>C全「in Japanese ねこ」 A全「(1,2) ねこ」 C全「(1,2) ねこ」 A全「(1,2) ねこ」 ※ジェスチャーの数で時間配分を調整する。10個やっても時間が余ったら、S主導で言語交換の復習を入れる。</p> <p>C「(英語で終わりのことばを言う)」</p>
<p>〔まとめ〕(10分)</p> <p>3. 交流した内容を振り返る。</p> <p>(1)交流で使用した英単語や交流先の言語を復習する。</p>	<p><u>ここからは担任の先生進行</u></p> <p>T「ジェスチャーの中で意外だったことや気づいたことはありますか？」 C「□□の鳴き声が面白かった」 T「□□は英語／○○語で何て言う？」 C「(英単語)」</p> <p>その他、Tからの質問・コメント例</p> <p>T「日本とジェスチャーが同じだった動物もある？」 T「今日の交流の感想を教えてください」 T「世界には多くの言語があるけど、英語は共通語。世界中の多くのこどもが英語を勉強しているから、英語が話せれば色々な国の人と話せるようになりますね」 T「オンラインで交流してみて、海外がとても身近に感じることができましたね。普段の生活の中にもいろいろな国との関わりがあります。○○以外にもどんな国と関わるのが見つけていきましょう。」</p>

ジェスチャーゲームの流れ

日本側の準備物：絵カード 10 枚(英語/日本語)

※後日、APCC がデータを送るので印刷等の準備をお願いします

交流先の準備物：〇〇語の絵カード 10 枚(英語)

動物の種類：とら、ぞう、ねこ、いぬ、ぶた、かえる、うし、さる、ひつじ、あひる

日本側がジェスチャーする場合

- ① 10 枚の絵カードの中から、T は 1 枚選び C1 に見せる。
- ② C1 は絵カードの動物の鳴きまねやジェスチャーをカメラの前で行う。
- ③ A は英語で回答。正解がでたら、「YES！」と大きな声で伝えて、全員で拍手をする。

- ④ C1 は日本語の絵カードをカメラの前で見せる。

ひらがなを指さしながら「とら」とゆっくり言う。

- ⑤ A がリピートするのを待って、C1 はもう一度「とら」と言う。

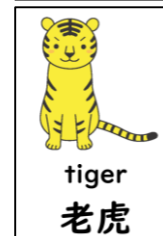
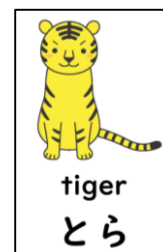
※A が発音できていたら「Good!!」と言って褒めてあげましょう！

- ⑥ A 1 は母国語の絵カードをカメラの前で見せ、「老虎」という。

C は全員でリピートする。

※リピートはバラバラになりがちなので、T はみんなで元気よくリピートするよう促す。

- ⑦ A 1 がもう一度「老虎」と言ったら C はリピートして、1 つの動物が終わり。



交流先がジェスチャーする場合

- ① A がジェスチャーをするのを見る。※T は何の動物か推測し、英語で答えを言うように促す。

- ② 答えが出始めたら、全員で声をそろえて答えを英語で言う。

- ③ A は〇〇語の絵カードを手に持ち、母国語の言い方を教える。

- ④ C は全員でリピートする。2 回繰り返す。

- ⑤ C2 は日本語の絵カードをカメラの前で見せる。

ひらがなを指さしながら「△△」とゆっくり言う。A はリピート。2 回繰り返す。

★T は交流先がジェスチャーした動物のカードははずして、次の動物を指定する